

介護福祉学科

学習成果

介護福祉学科では、2年間の学びを通して、以下の学習成果を定めています。

- 1) 豊かな感性と表現力を備え、相手にもわかりやすく伝えることができる。
- 2) 相手の立場になって考え、円滑な人間関係の形成につながるコミュニケーション能力を身につける。
- 3) その人らしい生活や自立支援を多面的に検討するため、幅広い教養に加え、介護福祉に関する専門的知識を身につける。
- 4) その人らしい生活や自立支援につなげるため、介護福祉に関する専門的技術を身につける。
- 5) 根拠に基づいたサービスを検討するため、介護過程に関する知識を身につける。
- 6) 利用者本位のサービスにつなげるため、介護過程を実際に展開することができる。
- 7) 自らの問題意識に基づき課題を設定する中で探究心を養うことができる。
- 8) 課題の解決に向けて、適切な方法で取り組み、その結果を考察する過程を通して、課題解決力の基礎となる研究的態度を身につける。
- 9) 授業や介護実習を通して多職種連携・協働を理解し、チームワークを発揮できる能力を身につける。
- 10) 地域の人々との交流を通して地域の文化・歴史を把握し、地域に貢献する意義を理解することができる。

介護福祉学科ディプロマ・ポリシーと学習成果の関係

ディプロマ・ポリシー	学習成果
1.温かい心と豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。	1) 豊かな感性と表現力を備え、相手にもわかりやすく伝えることができる。 2) 相手の立場になって考え、円滑な人間関係の形成につながるコミュニケーション能力を身につける。
2.介護を必要とする人の自立支援と、地域におけるその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。	3) その人らしい生活や自立支援を多面的に検討するため、幅広い教養に加え、介護福祉に関する専門的知識を身につける。 4) その人らしい生活や自立支援につなげるため、介護福祉に関する専門的技術を身につける。
3.根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。	5) 根拠に基づいたサービスを検討するため、介護過程に関する知識を身につける。 6) 利用者本位のサービスにつなげるため、介護過程を実際に展開することができる。
4.常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。	7) 自らの問題意識に基づき課題を設定する中で探究心を養うことができる。 8) 課題の解決に向けて、適切な方法で取り組み、その結果を考察する過程を通して、課題解決力の基礎となる研究的態度を身につける。
5.多職種や地域住民との連携・協働の必要性を理解できている。	9) 授業や介護実習を通して多職種連携・協働を理解し、チームワークを発揮できる能力を身につける。 10) 地域の人々との交流を通して地域の文化・歴史を把握し、地域に貢献する意義を理解することができる。